



2019～2020年度

国際ロータリー第2790地区

君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日
12:30PM～13:30PM
例会場 ホテル千成
Tel:0439-52-8511

事務局
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304
Tel:0439-52-8882
Fax:0439-20-8880

Vol. 7回 No.2099 2019.8.26

令和元年8月 第3例会 曇

開始点鐘 内山貴美子会長
Rソング 我らの生業
四つのテスト 小川 哲也会員

【出席報告】 免除者3名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2099	58	55	41	14	74.54 %
2098	58	57	46	11	80.07 %
前々回の修正	メークアップ	0名			71.43 %

(敬称略)

会長挨拶及び報告

内山貴美子会長

先週のガバナー公式訪問、皆様のご協力大変ありがとうございました。

無事終了することができたのも、全て皆様のご協力のおかげです。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

先週例会開始前のガバナーとの面談で、諸岡ガバナーに二本の手はオードリー・ヘップバーンも同じことを言っている。と言われました。

彼女の名言の二本の手については知っていた訳ではありませんでしたがユニセフの親善大使として有名だったので少し調べてみました。

オードリー・ヘップバーンは1987年従兄弟であるオランダ、ポルトガル駐在大使から依頼を受けマカオでユニセフ募金コンサートに出席し、スピーチしています。そのスピーチを聞いたユニセフの理事、ジェームス、グランドよりユニセフ親善大使の依頼を受け59歳の時、年俸1ドルでユニセフ親善大使になりました。

ヘップバーンはユニセフ活動のため、二本の手の他人のためのもう片方の手で、毎年100万ドルを使ったそうです。

ヘップバーンはオランダ貴族の出身だったので13歳の時にレジスタンスに参加し、ナチスに追われる立場になりました。そして栄養失調に苦しみ、重度の貧血や呼吸器障害等に苦しみましたが、そんな時にも食糧を差し入れてくれる人に助けられ

ながら生き延びることができました。

そんな生き立ちが「私は全人生をこの仕事の為にリハールしてきて、ついに役を得たのよ」と言って彼女をユニセフ親善大使にしたのでしょう。

戸田孝様著書のロータリー書籍、ロータリークラブに入ってよかった「素晴らしい出会い よき師、よき友は人生の宝②」の中の12ページ3の「二本の手」オードリー・ヘップバーンの話の中にも書いてありました。

ヘップバーンは「人間には二本の手が与えられている、一本は自分の為の手である、もう一本は他人の為の手である」と言っているが、私は一瞬、オードリーは仏教徒かと思いました。仏教では2500年も前から同じことを言っています。一本は自分の為の手「自利の手」、もう一本は他人の為の手「利他の手」なのです。

ヘップバーンの、一本は自分の為の手であり、もう一本は他人の為の手である。全部を自分の為に使ってはいけない。もう一本は他人の為に使いなさい。これはお釈迦さまも言いたいことなのですね。人間は、自分でできることは自分でやり抜く、そういう決意と勇気が必要です。しかし、自分でやり抜いていると、他人のことが忘れがちになる。いかに他人様のお陰を頂き、自然から水を頂き、大地のお世話になり、太陽を燦燦と浴びて今日あることを忘れるのですね。だから自分に与えられた二本の手を自分で使ってしまう人が多くなった、所謂(いわゆる)、自己中心です。

私たちはロータリアンです。2本手の果たすべき役割を十分理解して使い、その手をつなぎ、仲間を増やしていきましょう。

最後に、
生きているということは、誰かに借りをつくること
生きているということは、その借りを返していくこと
誰かに借りたら、誰かに返そう、
誰かにそうしてもらったように、誰かにそうしてあげよう

生きているということは、誰かと手をつなぐこと
つないだ手の温もりを忘れないでいること。
めぐり合い、愛し合い、やがて別れる日、
そのとき悔いのないよう今日を明日を生きていこ

う。

人は誰も一人では生きていけない。

人は誰も一人では歩んではいけない。

この詩は著者がパスト・ガバナーCKO氏に聞いた忘れられない詩だそうです。ということで、ともにつなぐロータリーの手を増やしていきましょう！

報 告

1. 8月22日(木)にきみつ秋花火実行委員会会議が開催されました。

当クラブより平野会員が出席されました。お疲れ様でした。

幹 事 報 告

武田富士子幹事

1. 8月27日(火) RLI実行委員会キックオフセミナー開催

場所：千葉市民会館 第1～4会議室

時間：10時～16時30分

出席：吉野会員・宮本会員

2. 8月31日(土) クラブ米山記念奨学委員長セミナー開催。

場所：三井ガーデンホテル千葉

受付：13時～(点鐘：13時30分 閉会：16時)

出席：地区米山記念奨学会 鈴木委員長

3. 8月31日(土) 地区会員増強・維持拡大セミナー開催

場所：TKPガーデン千葉 4F

受付：13時30分～(点鐘：14時 閉会：17時)

出席：荒井会員増強委員長・武田幹事

4. 9月1日(日) ロータリー財団セミナー開催

場所：TKPガーデン千葉

受付：12時30分～(点鐘：13時 閉会：16時30分)

出席：ロータリー財団委員会 坂本副委員長

5. 9月2日(月) の例会前11時30分より第3回定例理事会を開催。

出席：理事・役員の方

〈回 覧〉

1. 君津RC週報

2. 第5グループ週報

3. 会員名簿の校正

4. 第5グループ親睦麻雀大会の出欠の案内

5. 地区大会記念ゴルフ大会の出欠の案内

6. きみつ秋花火のお手伝いの案内

7. 地区大会記念誌

8. コスモス通信(当クラブ掲載)

〈配布物〉

1. ロータリーの友(8月号)

2. 2019-20年度活動計画書の訂正シール

3. ガバナー公式訪問の集合写真

4. 本のチラシ

*米山梅吉ものがたり

*国際奉仕委員会にて市内中学校に配布された本
「敗戦後の日本を慈悲と勇気で支えた人」

自 己 紹 介

大木建樹会員

みなさん、こんにちは。京葉銀行君津支店の大木でございます。この6月の人事異動で市川の本八幡支店より、異動してまいりました。前任の支店長同様、よろしく申し上げます。ロータリーでの活動は、はじめてで緊張しておりますが、ロータリーの基本理念をよく理解し内山会長の基本運営に沿って活動していく次第です。

また、地域金融機関としても地域経済発展への貢献が重要な役目と考えております。

これから、君津地域の経済を引っ張っておられる皆様と色々な意見交換をさせていただきながら地域のために役立てる様、前向きに頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。

簡単では、ございますが自己紹介をさせていただきます。

出生地、千葉県習志野市、両親はともに成田市出身であり、生粋の千葉県人であります。大学1年まで野球を続けていました。近年はゴルフを楽しんでいます。

日課としては、愛犬マルの朝の散歩をしています。ここでマルの話させていただきます。マルは、9年前動物保護センターで母犬、子犬2匹で保護されていた捨て犬でした。縁あって譲り受け現在家族の一員として幸せに暮らしています。他の犬についても里親が決まり幸せに暮らしています。この物語の本がありますので是非一度読んでいただくと嬉しいです。

作品名：ゆるるシッポの子犬・キララ、作者：今西乃子

小学生の読書感想文には、最高の作品だと思います。大木家族も作品の中に登場します。

終わりに今後皆様と色々な意見交換や親睦を図らせていただき、ロータリーを通じて奉仕の理念を實踐し地域貢献できる様、頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。



原田健夫会員

ご安全に！この度、君津RCに入会させて頂きました原田健夫と申します。

4年前、日鉄住金環境(株)の君津支店長に就任した時点で君津RCに入会させて頂き、1年前に退会した訳ですが、今年の4月から君津共同火力(株)に移籍となり、今回、改めて君津RCに入会させて頂くことになりました。前回同様、皆様のご指導を頂き、微力ながら地域社会への奉仕活動等を行っていかねばと思っておりますので、改めて宜しくお願いいたします。

ということで、自己紹介も2度目となる訳ですが、この1年間に多くの新たなメンバーが君津RCに加入されていますので、改めて自己紹介をさせて頂きます。

私は1959年(昭和34年)に愛知県知多郡東浦町で先祖代々から受け継がれてきた由緒正しい水飲み百姓の長男として生を受けました。今でこそ、名古屋のベッタウンとして多少は発展した感がありますが、昔は信号機もエスカレーターも無い様な田舎で、父親が運転する牛車(牛が牽引する大八車)で畑仕事の手伝いに行っていた記憶があります。ちなみに、覚えている方がいらっしゃるかも知れませんが、数年前に人口水増しで市への昇格を狙ったのが内部告発されてしまい、少し話題になった街です。

1984年(昭和59年)に新日本製鉄(株)に入社し、以来、約30年間の殆どをエネルギー屋として、製鉄所におけるエネルギーの安価安定供給に関する仕事に携わってきました。新日鉄時代の最後の5年間は、製鉄所で発生するスラグやダストの販売・リサイクルといった、凡そ経験のない分野も担当しましたが、全国各地を訪問する機会にも恵まれ、それなりに充実した日々でもありました。

2014年に日鉄住金環境(株)(現在の日鉄環境(株))に出向・転籍となり、製鉄所の水処理関係の仕事に従事しましたが、今年の4月に現在の君津共同火力(株)に移籍し、東京電力と日本製鉄の両親会社に安価な電力を安定的に供給する仕事に従事しています。

さて、自己紹介では趣味の紹介が一般的なのでしょうが、趣味は何ですか？と聞かれることが一番返答に困ります。現在まで、これといった趣味はありません。敢えて言うならば、食べられる物を収穫するのが好きです。毎年欠かさずに行っているのが、潮干狩りです。朝一番に浜に撒いた



“輸入物のあさり”だと解っていても、熊手を伝わるあさりの感触は堪らなく快感で、時間を忘れて、一心不乱にズボンの裾を濡らしながら収穫しています。また、自宅の庭に梅の木を1本植えていまして、これが毎年結構実を付けます。これまで全て梅酒・梅ジュースにしてきたのですが、消費が追い付かないので、今年は南高梅ではないのですが「梅干し」にしました。多少硬いのですが、十分食せる梅干しに仕上がりました。

新日鉄住金を退職して以降は、長年の仕事人間を少し反省して、土日に妻と二人で食事や旅行などを楽しむようになりました。旅行等に行くと、必ず自撮り棒を使って二人の写真を撮り、それを家族だけのグループLINEにアップしていますが、子供たちも最近では、「また遊んでいるのかよ」という感じで、反応すら見せてくれない状態ですが、パラグライダーとか、海外クルーズ、海外旅行にも挑戦を始めました。

地域社会への関わりとしては、畑沢小学校のサッカーチームである畑沢FCの父兄会長が出发点で、町内会や畑沢中学校PTAなども経験させて頂きました。様々な方達とのお付き合い、飲みにケーションが出来て、楽しい思い出となっています。諸先輩方のご指導・ご支援を頂きながら、君津RCでの各種活動も楽しみながら参加させて頂きたいと思っておりますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

委員会報告

公共向上イメージ委員会 「ロータリーの友」紹介

猪瀬浩副委員長

本日は「ロータリーの友8月号の中で、気になった部分を発表させて頂ければと思います。

まず左表紙からの横段7ページ。

今月は、会員増強月間ということで、今回は「趣味を通してつながろう！」という記事がいろいろと書かれています。

例えば、8ページの「ハマドリ会」なんかは、転勤がある会社が多い横浜RCにおいて、新しく赴任してきた後任者会員さんにRC活動に早く慣れてもらおうということで、年に2回親睦会が行われているそうです。

ちなみにこの君津RCも転勤がある企業会員さんが多数占めますが、君津RCの場合、夜間例会等も多く行われていて、ある意味、こういった会が自然と開かれているのかなと感じます。

横段9ページ

本当に趣味の集まりで、スキーやランニング、モータサイクル、アウトドア、合唱団、釣り、美術

鑑賞、邦楽、料理、バンド演奏と、様々な同好会が開かれているという記事が書かれています。

ここで私ごとですが、最近のはめつきり時間が取れなくなってしまったのですが、長距離ドライブ・写真・アウトドア等を楽しんでいた時期もあり、車でいろいろなところを回り、自然を満喫しながら写真を撮ったりするような活動なんかあったら、参加したいなとも思います。

それはさておき、13ページにはちょっと変わった同好会が載っていました。名称は「痛風友の会」。

幸い、私はまだ痛風になったことはないのですが、痛風になると食事等が制限されて楽しむこともなかなか難しくなるかと思うのですが、お医者さんが会員にいらっしゃるということで、痛風であってもお医者さんに予防法等をレクチャーしてもらいながら、楽しくお酒や食事を嗜む会が開かれているそうです。君津RCには、永寛会員がいらっしゃいますので、こういった持病を持った方でも楽しくお酒を飲みながらRC活動が出来ますよ、という会員募集をしてみても面白いかなと思いました。

続いては、14ページ

1年間で51名もの会員拡大を図った「高崎RC」について、記事が書かれています。

会員がそれだけ増えて、何か変わったことはありますか？という感じで、Q & A形式で書かれています。まず最初に「多方面から資金提供を求められる機会が増えた」とあるのが、印象的であります。

多方面から資金提供を求められるということは、たぶんいろんな他団体で活動されている方を一本釣りしたのかなということが予想出来るかと思えます。

社会に奉仕することを1つの目的とするRCですが、もともと他団体なんかでも積極的にボランティア活動をなされている方は、奉仕活動に対する理解度が高い即戦力な会員にも成り得る一方で、持ちつ持たれつの関係も増えるのかなと感じました。

一方で、そういった様々な個性を持つ方が増えたことで、マンネリ化や停滞感が生じていたクラブ活動にも、躍動感が感じられるようになったのは良かったということも書かれています。

また会員が増えたことで、運営資金も潤沢となり、様々なチャレンジも出来る様になったことも良かったということも書かれています。

なお、新たな考えを持った方が増えてくれば、オールド・スタンダード、良く言えば組織の伝統を守っていくのが難しくなるので、新たな形での伝統を作っていくところに現在着手しているということが書かれています。

また人数が増えてくれば、会員の例会への出欠管

理等、事務局の仕事も増えてきて、事務局員の勤怠管理にも問題が生じてきたということが書かれています。

それに対しては、ITを駆使して管理ソフトを作って、業務改善を徐々に図っているところということで、いずれその管理ソフトが出来上がったら改めて紹介していきたいというので、IT化に興味ある私としては続報に期待したいと思っています。

この特集の最後、15ページの色つきの部分ですが、伝説の会長からのメッセージとして、会員増強・会員維持を図っていくために大事なこととして、このようなことを書かれています。

「会員にはさまざまなタイプがいる。その多様性を理解し、それぞれが活躍できる場所を提供し、自分の居場所、役割を満喫してくれるように工夫することが、クラブ指導者の務めだ」と。

これは会社運営にも当てはまることだと思いますので、私自身も気に掛けながら取り組んでいきたいなと思います。

続いて、16ページ

こちらはロータリー歴27年のベテラン会員さんのお言葉が紹介されています。

新会員を勧誘するための8つのポイントとして、

1. 奉仕活動に理解のある人を誘うこと
2. 昼間の例会に出席できる人を候補に
3. ロータリーの入会金や会費のことを勧誘時に伝える
4. 出席についてのメイクアップの制度を説明する
5. 新しい出会いがビジネスチャンスにつながる可能性について触れる
6. 同業会員や地元の知人に入会候補者の風評を聴取してから勧誘する
7. クラブの勧誘用リーフレットを持ち歩く
8. 「数打てば当たる」は時間の無駄

ということで、その中で「人となりが分かった人を入会候補者として選ぶことが最初」の一步です、と書かれています。

ちなみに7番目の勧誘用リーフレットは、君津RCでは見かけたことがないので、駅前花植え奉仕作業、枝豆収穫祭、職業奉仕作業、等、こんな活動をしているんだよというのが分かるような写真を添えたリーフレットなんかがあると良いのかも知れないなと思いました。

続いては、縦段の4ページに移ります。

「言葉の力」という投稿で、まずは「しあわせはいつも じぶんのところがきめる」という段落が書かれています。

「何に幸せを感じるか」という人生のテーマともいえるものについて、著者は東京大空襲の時代を生きた方であって、生活は不便だったけど、その時代

なりにわくわくするようなことがたくさんあった。

特に「誰かのために」あるいは「何かのために」という一途な思いをエネルギーにして、つらい環境であっても力強く生き抜く中で、その環境を変えるために頑張ることで、幸せを感じてきたとのこと。

現在、欲しいものが何でも手に入る時代になり、不便さを感じなくなってきたはずなのに、人々は不満や不安を抱え、幸せを感じづらくなっているように感じる。それは豊かさと引き換えに「我慢すること」「分け合う事」「支え合う事」等、人間として大切なことの多くが、社会から失われてしまったからではないかと書かれています。

一方で、そんな現代においてもあまり悲観的になる必要はないとのこと書かれています。人はその時代時代に合わせて、価値観を再構築し、幸せを見つけていくはずですから。

続いての段落では、「心の輪郭はつかみにくい」とあり、ここでは心理学者であるフロイトの防衛機制について書かれており、人は「弱いようで強く」「強いようで弱い」という人の内面は見えないということが書かれています。

続いての段落は、「察する文化の中だからこそ」とあり、海外では「相手と自分は違う」ということが前提なので、他人とのコミュニケーションに対して「分かりやすく、情報を正確に伝えることが重視されてきた」と思われるが、日本では「相手と自分は同じ考え方の下にいる」が前提なので、「言葉が足りなくても意思疎通が出来る察する文化」が重視され、「黙して語らず」が評価され、逆に「空気を読まない」発言等は嫌われると言ったことが書かれています。

しかしながら、心を窮している相手には「察する対応」では救いの手を差し伸べることが難しい場合もあるので、その文化を大切にしながらも、言葉で表現してあげることも大事ではないかということが書かれています。

その次の段落は、「世界の偉人たちの名言から」著者が思うことが書かれており、最後は「一生を終えてのちに残るものは」という段落で締めくくっています。

これからの時代は、今まで以上に「人との関わり」が大切になってくるだろう。物質的豊かさから精神的豊かさへと重心を変えるためにも、「言葉の力」というものが大切になってくるだろうと。

否定的な言葉を減らし、肯定的な言葉を増やしていく。ささやかな努力が、もしかしたらずっと先の方で人生の意味にも繋がってくるだろうと述べ、「一生を終えてのちに残るのは、我々が集めたものではなくて、我々が与えたものである」というジェラルド・シャンドリの言葉を紹介して文章を締めく

くっています。

最後にご紹介する記事は、9ページ。

宮崎RC会員の佐藤寿美さんの記事になります。

NHKのディレクター・プロデューサーとして「クローズアップ現代」等の番組を発案・制作した方で、現在は宮崎県立芸術劇場の理事長兼館長を務められている方。

クラシック音楽の世界では有名である宮崎国際音楽祭にも関わっており、その中でも常に新しい企画を考え、それを実現するためにどうすればよいかをまとめていく。

記事の中では、「カネ・ヒト・モノ」を活かして、お客様にどう喜んでもらうか」と表現されていますが、佐藤さんは自らに飛び抜けた才能はないが、才能ある人間に出会う運があり、自らの閃いたアイデアを形にしているようだとのこと。

ロータリー活動にはなかなか参加出来ないが、宮崎RCでの交流は、そういった出会いの1つのものであると思うと書かれています。

私もなかなかRCに参加出来なくなってしまっていますが、皆さんとの交流は私にとってかけがえのないものだと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

以上、まとまりませんが、ロータリーの友8月号で気になった記事の紹介となります。ご清聴ありがとうございます。

プログラム

会員卓話「黒崎播磨と耐火物について」

兼武会員

皆さん、こんにちは！

この度は卓話の機会をいただきましてありがとうございます。本日は、私が勤務しております黒崎播磨(株)とその主要事業であります耐火物についてお話しさせていただきます。

先ず、当社ですが業種は窯業になります。その中で耐火物の製造・販売を主要事業としており、従業員は連結で4,735名です。社名ですが、「黒崎」は福岡県北九州市八幡西区にある地名で、「播磨」は現在の兵庫県南西部のことで旧国名の一つです。1919年6月1日に北九州の地で黒崎窯業として創業しまして、2000年にハリマセラミックと合併し現在の商号となりました。そして、今年6月1日には創業100周年を迎えることが出来、今年日本製鉄の連結子会社にもなりました。

本社は福岡県北九州市で、国内の製造工場は9



箇所、支店・営業所は19箇所、ファーンレスが7事業所、ファインセラミックスが6営業所あり、君津には、耐火物の販売を行う君津支店とファーンレス（耐火物施工）事業の君津事業所があります。事務所は君津製鉄所内にあり、従業員は直協合わせて約500名（内君津支店33名）です。

当社の昨年度連結売上高は約1,400億円ですが、売上の90%以上を耐火物関連事業（耐火物＋ファーンレス）が占め、得意先別では日本製鉄グループ向けが49%、日本製鉄以外の高炉メーカーが3%、その他12%で海外向けが36%です。特に海外向けは、この10年間でインド、ヨーロッパ等での拡販が進み売上高は500億円を超えました。日本からの輸出もありますが、現地で生産した製品を販売するかたちを取っています。

また、単体の耐火物売上730億円においてはその98%が鉄鋼向けであり、耐火物は金属材料の生産には不可欠な製品と言えます。

耐火物とは、高温の過酷な環境で使用される耐熱・耐食性のセラミックスで、溶けた鉄に耐える素材です。定義は『1,500℃以上の定形耐火物および最高使用温度が800℃以上の不定形耐火物、耐火モルタル並びに耐火断熱れんが』とされています。

◇定形耐火物

予め成形・焼成される耐火物の総称。熱伝導率の程度により耐火煉瓦と耐火断熱煉瓦に分類される。

◇不定形耐火物

粉粒体または練り土状の耐火物の総称。コンクリートの様に施工現場にて様々な形状に施工される。

◇耐火モルタル

耐火煉瓦の築炉時に目地に施工されることを目的とするモルタル

とにかく火・熱に耐えることが出来る物で、その温度は1,500℃～1,600℃に耐え得るのが耐火物です。

耐火れんがのイメージとして、身近な物では土器、陶器や磁器があります。粘土で形を作り焼き固めたもので、原料の耐火性や焼き固める際の温度が違ったりしますが、基本的には同じものと言えます。

次に、耐火れんがの価格について触れますが、園芸用れんがが50～200円/個なのに対し、耐火れんがは相当高価で300～5,000円/個です。その差の要因の一つは原料費で、一般的な粘土を使用する赤れんがに対し、耐火れんがは特定の組成の原料を厳選して組み合わせた配合を使用するため

です。耐火物にとっての重要10資源は、珪石、ロー石、マグネサイト、クロム鉱、ジルコン等になります。

次に、当社の残り6%の事業にファインセラミックス事業があります。精密部品用セラミックスや電子部品焼成用部材、高機能断熱材などを製造・販売しております。また、景観材の販売も行っておりまして、北九州では公園やJRの駅等の舗装で多く採用していただいております。

最後に、当社には1961年創部の陸上部があり、駅伝を中心とした活動で、毎年元旦に行われるニューイヤースタッフには8年連続で出場しています。また、9月15日に行われるMGCには昨年の別大マラソンで日本人1位となった園田選手が出場予定で、来年の東京オリンピック出場を目指して全社で応援しているところです。今後実業団駅伝等をご覧になれる時は、黒崎播磨を少しだけ応援していただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

内山貴美子 先日のガバナー公式訪問、ご協力ありがとうございました。

武田富士子 昨日、富士総合火力演習に今年も行ってきました。迫力はすごいです。ブルーシートに座っての見学だったのですが、お尻から地響きのごとく体感する爆音は本物だと感じました。諜報活動している外国人が多くいると聞いていたのですが、外国人は多く見学者がいました。

大浦 芳弘 やっと猛暑も去り、朝夕に秋の気配を感じられる時節となってきました。ただ、日中はまだ30℃を超える日もありますので、熱中症予防には気が抜けません。次週9月2日は、予定通り進みますとさずさマジックの日本選手権予選の日となりますので、例会を欠席させていただきます。

坂井佳代子 写真、ありがとうございました。

川名 正志 写真、ありがとうございました。
赤星 哲也 藪会員様、卓話での貴重なお話ありがとうございました。

篠塚 知美 大木会員、原田会員、素晴らしい自己紹介ありがとうございました。私もまだまだ新参者で、分からないことが多いですが、これから宜しくお願ひ致します。

吉田 雅彦 藪会員ありがとうございました。早

いもので来週から9月に入ります。朝晩は秋を感じられるようになってきました。体調管理に気をつけていきましよう。

別府 明人

藪会員、卓話有難う御座いました。原田会員、改めまして宜しくお願ひ致します。

小川 哲也

藪会員、貴重なお話をありがとうございました。スマホの機種変をしました。先生になる子供たちが、既に家を出ているので、いろいろと大変です。

隈元 雅博

藪さん、卓話をありがとうございました。これからもロータリー活動を頑張ります!

倉繁 裕

8月30日～9月2日、社会人野球日本選手権、関東代表決定戦を迎えますが、かずさマジックの投打のバランスを発揮した勝利、大阪ドーム出場決定を心より願っています。未だ、暑い日々が続いています。皆様、ご自愛下さい。

中野 賢二

本日は、途中で帰らせてもらいます。どうもすみません。

原田 健夫

庭のゴーヤがほとんど実を付けることもなく、秋の気配が出てきました。RC活動の季節ですね。

岡野 祐

まだまだ厳しい暑さが続きますが、皆様お身体、お気をつけくださいませ。

大木 建樹

今後とも宜しくお願ひ致します。

藪 武

本日卓話の機会をいただきました。ありがとうございます。約2ヶ月前にお話をいただいてから、テーマを考え続けましたが、仕事しかありませんでした。もし次回があれば仕事以外のお話が出来よう色々な事に挑戦しなければと考えさせられた期間でした。

楠原 義章

本日はWIFEの誕生日です。8月26日はマザー・テレサ生誕の日でもあるのですが、私のWIFEは彼女ほどには寛容ではありませんので、まず朝イチでおめでとうのLINEを送り、週末にはプレゼントを一緒に買いに行く予定です。

宮寄 慎

藪会員、貴重な卓話、ありがとうございました。

大住 昌弘

お盆前後に、今年のロータリークラブの国際奉仕関連で市内の中学校・

小学校数校の校長先生などと接触しました。今週後半から2学期が始まるようですが、それに向けて暑期中、職員会議や体育祭の準備などで登校されている先生方が多いのに驚きました。報道では、今の「自由研究」は真面目な先生方が疑問を感じながらも、親が結構時間を取られる事も多い様ですね。このあとどっと提出される「やらされ」宿題ですが、子供達や親達のみならず、学校関係者にとって、貴重な時間をどう有意義に使うか再考すべきだと、あらためて思いました。

佐々木昭博

先週、消防本部にてAED普通救命講習を受けてきました。119番通報から救急車到着までの平均時間は約9分。その間に心肺蘇生救命措置が出来れば、生存率は40%～50%に上がるそうです。3時間程度の簡単な講習でしたので、皆さんも受講してみてもどうでしょうか。ガバナー公式訪問の写真もありがとうございます。

宮本 茂一

写真ありがとうございます。最近、夏バテ気味で食欲不振です!!皆様も気をつけて下さい!!

芝崎 均

藪会員、卓話ありがとうございました。

永嵐 嘉嗣

昨日、木更津の月例で2位になりました。

大森 俊介

藪さん、卓話ありがとうございました。

廣田 二郎

ガバナー公式訪問の写真ありがとうございました。

高橋 雄一

お盆の、中途半端な時期が終わり、体が元に戻りつつありますが、何か、ちょっと…。藪会員、卓話ありがとうございます。

黒岩 靖之

ガバナー公式訪問の写真、いただきました。

小幡 倅

秋の涼風が吹いてきました。急に温度が変化すると体調管理が大変です。公式訪問の写真頂きました。ありがとうございました。

内山 雅博

藪会員、卓話ありがとうございました!さて、管理職で順番に夏休みを取り、リフレッシュしてきました。手違いで、顔が黒くなりすぎましたが、心機一転、頑張っていきます。

福田 順也 藪会員、卓話ありがとうございました。
吉野 和弘 写真頂きました。
猪瀬 浩 先週は顔中に水疱が出てしまい、急ぎょ欠席しまして申し訳ありませんでした。今日は「ロータリーの友」、発表させて頂きます。宜しくお願いします。
秋元ゆかり 最近ゴルフに行く回数が増えているせいか、少しずつですが、上達してきたような気がします。100切れるようになりたいです。

